

(別紙様式)

# 令和5年度 赤穂市学校評価報告書

学校名 赤穂市立有年小学校

## 1 本年度の学校経営方針

- ◆ 学校教育目標 自他を大切に、夢や志をもって学び続ける児童の育成～ふるさと未来を拓く有年っ子～
- ◆ めざす児童像 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身に付け、自信と誇りをもつ児童
- ◆ めざす教師像 主体的な研修と授業実践に努め、教育の専門職としての力量を高める教師
- ◆ めざす学校像 一人一人のよさを引き出し、違いを認め、高め合う学校

## 2 本年度の学校重点目標

- 1 知徳体の調和のとれた「生きる力」と「ふるさと意識」の醸成
- 2 基礎・基本の確実な定着と、達成感のある学習指導の充実
- 3 児童の内面への共感的理解に基づく生徒指導の充実
- 4 地域との信頼関係を基盤に据えた「地域とともにある学校」の充実
- 5 児童と向き合う時間を確保する業務改善と働き方改革
- 6 児童が安心して安全に生活できる校内環境の整備
- 7 ウィズコロナ・ポストコロナ社会における新たな日常に対応する教育活動の創造

## 総合的な学校関係者評価

- ポストコロナ社会に於いて、日常的に基本的な感染予防対策を徹底しながら、教育活動を工夫・充実できた。学校の取組や児童の様子が学校だより、ホームページ等で家庭や地域にも伝わった。
- 児童が地域行事に参加する機会が増え、地域と児童が活動することができ、ふるさと有年にふれる活動ができたのはよかった。「有年っ子わくわくフェスティバル」はすばらしかった。
- 「地域とともにある学校」として、学校・家庭・地域の協働体制が構築されている。
- 小規模校のよさを生かした、落ち着いた学校運営がなされ、児童の成長を支えていることが感じられた。あいさつも以前より恥ずかしがらずに元気にできるようになっている。保護者も巻き込んで地域活動に積極的に参加してほしい。
- 地域学習「ふるさと有年学習」によって、ふるさとを大事にし、誇りをもてるようになってほしい。地域の素材や人材を生かした教育活動に今後も協力していく。
- 登下校の道で木の伐採や整備が必要ななら、協力するので、声をかけてほしい。
- コミュニティ・スクール6年が経過した。今後も学校・家庭・地域の連携を進めていきたい。

## 3 自己評価結果 (A～D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)	評価資料	達成状況	改善の方策	
評価指標および目標値 (期待される姿)					
確かな学力	項目 指標	主体的・対話的で深い学びを保障する授業づくり めあてとまとめを配置し、見通しをもって学べる授業	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標と指導と評価の一体化を具体的に推進する。</li> <li>・自主学習の習慣化と内容の深化を図るとともに習熟度にあわせた適切な指導を工夫する。</li> <li>・効果的なICT機器の活用につながる教員のスキル向上のための研修の充実を図る。</li> </ul>
	項目 指標	確かな学力の定着 家庭学習の手引き、学習タイム、読書タイム	アンケート テスト・ノート		
	項目 指標	特別支援教育の充実 個に応じた支援、指導計画に基づいた指導	アンケート 記録		
	項目 指標	ICTを活用した授業改善 電子黒板やタブレットの効果的活用	アンケート 観察		
	項目 指標	ICTを活用した授業改善 電子黒板やタブレットの効果的活用	アンケート 観察		
豊かな心	項目 指標	人権教育の推進 互いを尊重し合い心の居場所となる学級づくり	アンケート 記録	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造的な板書を充実させる。道徳科では授業時数確保を常に意識する。</li> <li>・地域との協働学習を一層推進し、小規模校のよさを生かした教育活動を工夫する。</li> <li>・毎月の生活・いじめアンケートに加え、きめ細かな児童観察に努め、教育相談体制を確立する。</li> <li>・隠れたカリキュラムを意識する。</li> </ul>
	項目 指標	道徳教育の充実 道徳の時間(年間35時間)の確実な実施	アンケート 観察		
	項目 指標	ふるさと有年学習の充実 生活科・総合的な学習の時間における探究的な学習	アンケート 記録・観察		
	項目 指標	いじめ・不登校問題への積極的な対応 いじめ対応マニュアルに基づく早期発見・早期対応	アンケート 記録		
	項目 指標	開発的生徒指導の推進 児童の内面理解に基づくカウンセリングマインドの実行	アンケート 観察		
健やかな体	項目 指標	体育・運動能力の向上を図る指導の工夫及び改善 体育のあゆみの活用、業間マラソンの年間実施	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊具や道具の整備を推進する。</li> <li>・運動に親しむ機会を増やし、普段からの体力向上を図る。</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん運動」の取組を充実させ、家庭との連携を図る。</li> <li>・けがの発生を未然に防ぐ。</li> <li>・食の安全に努める。</li> </ul>
	項目 指標	家庭と連携した生活習慣の改善と確立 早寝早起き朝ごはん運動の啓発と充実	アンケート 観察		
	項目 指標	健康教育・安全教育の充実 感染症の予防、保健指導、安全教育の工夫・充実	アンケート 記録		
	項目 指標	食育の充実 食育指導、給食指導の充実	アンケート 記録		

## 学校関係者評価

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

自己評価は 適切か	改善方策は 適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習規律も整っており、1時間の学習の流れが見える授業づくりがなされている。</li> <li>・非常にきめ細やかに一人一人に対応し、ICT機器も効果的に取り入れながら、学力保障を進めていることに、地域として信頼を寄せている。</li> <li>・少人数なので、一人一人に対する指導が細やかにできる点を生かし、確かな学力を身に付けさせてほしい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと有年学習やアートマイル国際交流の取組は、方法を工夫して教育活動を推進されている。ふるさとを意識し、世界的な視野をもった人材を育てるため、今後も指導の充実を図ってほしい。</li> <li>・「有年っ子わくわくフェスティバル」を継続し、児童主体の発表会をさらに充実させていく</li> <li>・「不登校をつくらない」ための開発的生徒指導を進め、児童が互いを思いやるあたたかい学校づくりを進めてほしい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の流行も少なく、年間通して元気に過ごすことができた。家庭での予防対策も浸透してきている。</li> <li>・子ども達の運動の機会が確保し、体力づくりの向上に努めてほしい。</li> <li>・ゲームやネットにかかる時間が増えた一方、朝ご飯を食べない児童や睡眠不足の児童の増加が懸念される。家庭への啓発を進めていく。</li> </ul>

安全・安心	項目	危機管理体制の確立	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>報告・連絡・相談の日常化をさらに意識し、実行する。</li> <li>掲示物や放送内容を定期的に点検する。</li> <li>基本的な感染症予防対策の徹底と継続を図る。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>校地の除草作業や伐採作業など、関係機関やPTAと教育して環境整備に努めることができた。</li> <li>毎月の安全点検を徹底したり、不要な物を除去したりして、安全確保に努める。</li> <li>地域の見守りボランティアも継続し、安全な登下校を見守っていく。</li> </ul>
	指標	ヒヤリ・ハットの視点とリスクマネジメントの意識改革						
	項目	学習環境の充実						
学校組織力	指標	情操を培う落ち着いた校内放送、整った掲示環境	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の言動を見合い、教員自身が高い倫理観と人権意識をもつように努める。</li> <li>内部講師による校内研修を一層進める。</li> <li>保護者や地域の声に対して、即時対応し、見える化する。</li> <li>定時退勤日を意識づけ、タイムマネジメントを意識した働き方を推奨する。</li> <li>ハラスメント防止担当者を設け、職場環境の維持向上に努める。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>水曜日が定時退勤日であることは地域も保護者も周知している。先生方にメリハリのある働き方を行ってほしい。</li> <li>先の予定を見越したタイムマネジメントを通して、勤務時間の適正化に各自が取り組むように意識改革を進め、実践につなげていく。</li> <li>PDCAサイクルで行事を見直し、持続可能な行事や教育活動を工夫していく。</li> </ul>
	項目	基本的な感染予防対策の徹底						
	指標	ポストコロナ社会における日常の予防対策の改善						
	項目	教育公務員としての高い使命感と倫理観						
	指標	豊かな人間性、真摯な姿勢と使命感、服務規律の遵守						
	項目	教職員の資質能力の向上						
	指標	OJTの実施と校内研修の充実						
項目	教職員の協働体制の確立							
指標	共通理解による組織的対応と報告・連絡・相談の徹底							
課題教育	項目	学校評価の改善・充実	アンケート 記録	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルの指導を繰り返し複数回行う。</li> <li>親子福祉体験学習の充実を図る。</li> <li>外国語の専科指導を充実させ、児童の英語力の向上を図る。</li> <li>専門家や地域ボランティアと連携した体験活動を進める。</li> <li>防災・安全教育の充実を図り、命を守る意識と態度を養う。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年1、17の防災士を招いての防災学習は大変意義があるので、継続してほしい。</li> <li>有年は水害で大きな被害を受けた歴史がある。今後も、日頃からの心構え、備えを大切に、水害の教訓を語り継ぐ教育を進めていくことが大切である。</li> </ul>
	指標	学校経営方針に則った実践と評価の一体化						
	項目	教職員の働き方改革の推進と業務改善						
	指標	定時退勤日の完全実施、記録簿による勤務管理						
	項目	職場環境の維持・向上						
	指標	労働安全衛生委員会を中心とした実態把握と改善						
	項目	国際理解を深める教育の充実						
指標	外国語活動やグローバル化に対応した教育の充実							
コミュニティ・スクール	項目	福祉教育の推進	アンケート 記録・観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の充実を通して住民の参画を推進する。</li> <li>挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。</li> <li>関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化問題について、引き続き、学校・保護者・地域が一体となって、情報共有し、取組を進めていきたい。</li> <li>小さな学校のよさを十分に生かした取組を進めてほしい。</li> <li>報道機関や関係機関等への積極的な情報発信を行う。</li> </ul>
	指標	福祉体験活動の充実、自他を尊重する意識・態度の醸成						
	項目	防災教育の推進						
	指標	様々な自然災害を想定した自助・共助の防災訓練の実施						
	項目	キャリア教育の充実						
	指標	自らの生き方を考える教育活動の工夫・充実						
項目	情報活用能力の育成							
指標	GIGAスクール構想の充実と情報モラル教育の推進							
コミュニティ・スクール	項目	コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校	アンケート 観察	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の充実を通して住民の参画を推進する。</li> <li>挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。</li> <li>関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化問題について、引き続き、学校・保護者・地域が一体となって、情報共有し、取組を進めていきたい。</li> <li>小さな学校のよさを十分に生かした取組を進めてほしい。</li> <li>報道機関や関係機関等への積極的な情報発信を行う。</li> </ul>
	指標	地域人材の活用、地域行事への参加						
	項目	積極的な情報発信						
コミュニティ・スクール	指標	各種お便り・ホームページ・参観日等による発信	アンケート 記録	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の充実を通して住民の参画を推進する。</li> <li>挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。</li> <li>関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化問題について、引き続き、学校・保護者・地域が一体となって、情報共有し、取組を進めていきたい。</li> <li>小さな学校のよさを十分に生かした取組を進めてほしい。</li> <li>報道機関や関係機関等への積極的な情報発信を行う。</li> </ul>
	項目	地域関係機関との連携						
コミュニティ・スクール	指標	学校運営協議会組織の立ち上げ準備	アンケート 記録	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会の充実を通して住民の参画を推進する。</li> <li>挨拶等により地域住民と児童と保護者の連携を深める。</li> <li>関係機関代表者への協力要請を進め、学校応援団を組織する。</li> </ul>	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校規模適正化問題について、引き続き、学校・保護者・地域が一体となって、情報共有し、取組を進めていきたい。</li> <li>小さな学校のよさを十分に生かした取組を進めてほしい。</li> <li>報道機関や関係機関等への積極的な情報発信を行う。</li> </ul>

#### 自己評価における特記事項

※ 達成状況の評価は、教職員の自己点検を点数化し、平均点を3段階で表している。(4点満点)

- A 3.5以上
- B 2.8以上3.5未満
- C 2.0以上2.8未満
- D 2.0未満

#### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

- ・学校規模の良さを生かした教育の一層の充実
- ・児童数減少による腹式学級体制への対応
  - 一学級1担任の確保
  - 教科担任制、学年ブロック体制等の柔軟な運用
- ・特別支援学級(自・情)新設による校内体制の確立
  - 特別支援教育の啓発・充実、教職員の意識改革・資質向上
  - 自他を認め合う豊かな心の育成